

みずほCustomer Desk Report 2017/10/06 号(As of 2017/10/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.82 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.82	1.1757	132.64	0.9757	1.3231	0.7862
SYD-NY High	112.92	1.1779	132.74	0.9795	1.3250	0.7865
SYD-NY Low	112.41	1.1699	131.84	0.9744	1.3108	0.7786
NY 5:00 PM	112.81	1.1712	132.11	0.9782	1.3120	0.7794
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.635/9.005		△25RR	1.540	Yen Call Over	

NY DOW	22,775.39	113.75	債券市場	日本2年債	-0.1360	▲0.5bp
NASDAQ	6,585.36	50.73		日本10年債	0.0460	▲0.9bp
S&P	2,552.07	14.33		米国2年債	1.4873	1.6bp
日経平均	20,628.56	1.90		米国5年債	1.9444	2.8bp
TOPIX	1,682.49	▲2.07		米国10年債	2.3480	2.5bp
シカゴ日経先物	20,730.00	30.00		独10年債	0.4560	0.3bp
ロンドンFT	7,507.99	40.41		英10年債	1.3870	0.9bp
DAX	12,968.05	▲2.47		豪10年債	2.7830	▲2.4bp
ハンセン指数	-	-	為替市況	USD/CNH	6.6543	0.0056
上海総合	-	-		ドルインデックス	93.90	0.44
USDJPY 3M Vol	8.76	▲0.25%	商品市況	CRB指数	182.943	1.65
USDJPY 6M Vol	9.16	▲0.12%		NY金	1,273.20	▲3.60
EURJPY 3M Vol	8.50	▲0.35%		WTI	50.79	0.81
EURJPY 6M Vol	9.04	▲0.27%		Dubai Spot	54.62	0.65

東京	東京時間は112.82レベルでオープン、ドル円は朝方から底堅い展開が続く中、日経平均が前日比プラス圏で寄り付くと一時112.92まで上昇。しかしその後、日経平均が前日比マイナス圏まで反落するとドル円はゴート日特有の実需フローも相俟って112.70まで下落。午後にかけては、特段目立った材料もない中で上値の重い推移、引けにかけて米長期金利が小幅上昇するとドル円もやや値を戻し、結局112.84レベルでクロスした。(東京15:30)
ロンドン	ドル円は小緩んだ。112.84レベルでオープン、翌日の米9月雇用統計発表を控えた様子見モードの中、ポンド円は下落やポジション調整にドル円は112.43まで売られ112.50レベルにてニューヨークへ渡った。ポンド円は下落した。英政局先行き不安(前日のメイ首相の保守党大会での演説中、メイ首相の咳が止まらなくなる場面があり今後の健康状態が懸念され辞任したほうが良いとの声の一部が高まった。今年6月の総選挙で保守党が過半数に達しなかったためメイ首相に対する不満が党内で強くなり噂されている中、今回咳が止まらなかったことが首相落しとの材料にされた模様)やドイツ産業同盟が独企業に対してハードBrexitに備えるように警告したとの報道に3週間ぶりの安値148.02を付けた。その後下値を探りながら148.10レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルは弱含んだ。1.1750レベルでオープン、この日発表された9月ECB理事会議事要旨で理事会メンバーがユーロ相場の急上昇に対する懸念を示していたことが明らかになったこと、米長期金利上昇等を背景に1.1735を付け1.1736レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドントルフリー00531 444 179 西海)
ニューヨーク	メイ首相に対する辞任の声が強まっていることから、海外市場でポンド円が下落する動きに112.41まで下落したドル円は、112.50レベルでNYオープン、朝方は米新規失業保険申請件数が予想をやや下回り、貿易赤字も前回から拡大しなかったものの、ドル円の反応は限定的となる。その後は米金利が上昇する動きにドル買いが強まり、ドル円はじりじりと下値を切り上げ、下院で2018年度の予算決議が可決され、減税規模が約1.1兆ドルと市場予想の1兆ドルよりやや上回ることで明らかになったこともあり、112.83まで上昇する。午後は翌日の米9月雇用統計の発表を控え、狭いレンジでの推移が続く中で一時112.88まで上昇し、112.81レベルでクロスした。一方、スペインのカタルーニャ州独立やイタリア選挙等、政局不安から上値の重いユーロドルは、ECB理事会議事要旨でユーロ高に対する警戒が示されていたこともあり、海外市場で1.1735まで下落し、1.1736でNYオープン、朝方は、海外時間の流れを引き継いだことや、ドル買いが優勢となったことから徐々に下値を切り下げ、1.1703まで下落、午後に入ってもドル買いが継続したことからユーロドルは1.1699まで下落、しかし直近安値1.1696付近では買い意欲もあり、その後は下げ渋り結局1.1712レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月5日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	09:30	豪 貿易収支	8月 \$989M	\$850M
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	8月 -0.6%	0.3%
	20:30	欧 ECB理事会議事要旨(9月20日開催分)	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	260K 265K
	21:30	米 貿易収支	9月 \$-42.4B	\$-42.7B
	22:10	米 バウエルFRB理事 講演	-	-
	22:15	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ハーカー・フィデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・確報	8月 2.0%/0.5%	1.7%/~
10月6日	05:30	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-

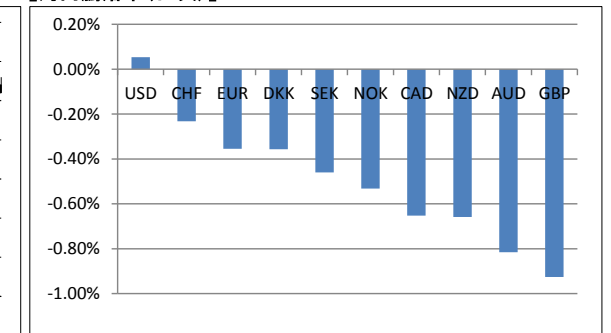
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月6日	15:30	独 製造業受注(前月比/前年比)	8月 0.7%/4.7%	-0.7%/5.0%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	9月 80K	165K
	21:30	米 失業率	9月 4.4%	4.4%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	9月 0.3%/2.5%	0.1%/2.5%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	8月 1.0%	1.0%
10月7日	01:15	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
	01:45	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	02:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-113.30	1.1680-1.1780	131.70-132.70

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は往って来いの展開。ロンドン時間に112.40台まで下落したものの、NY時間に米税制改革における進展が確認されたことや、ウィリアムズ米サンフランシスコ連銀総裁から「低インフレは一時的なもの、今後の利上げは適切」「インフレは2%まで上昇すると思う、利上げは可能」とのタカ派な発言があったことで、ドル円は112.88まで上昇している。本日の米雇用統計ではハリケーンによる悪影響は織り込み済みであり、ドル買トレンドの継続を予想する。